

霧島山（えびの高原^{いおうやま}（硫黄山）周辺）の火山活動解説資料

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター
鹿児島地方気象台

本日（12 日）、えびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、13 時までに 71 回発生しています。火山性地震の増加に伴い、火山性微動や山体膨張を示す傾斜変動が観測されています。

えびの高原（硫黄山）周辺では火山活動が高まっており、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から 1 km 以内に飛散する可能性があることと判断したことから、11 時 40 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）からレベル 2（火口周辺規制）に引き上げました。

【防災上の警戒事項等】

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲（図 5）では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

○活動概況

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

本日（12 日）11 時 11 分頃から、えびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、13 時までに 71 回発生しました。また 11 時 25 分頃から振幅の小さな火山性微動が 2 回発生し、合計で約 2 分程度継続しました。

・地殻変動の状況（図 4）

火山性地震の増加に伴い、硫黄山南西観測点や韓国岳北東観測点傾斜計¹⁾で山体膨張を示す傾斜変動が観測されました。その後、火山活動によると考えられる地殻変動は観測されていません。

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2）

監視カメラによる観測では、噴気の状況に特段の変化は認められません。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 マイクロラジアンは 1 km 先が 1 mm 上下するような変化です。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、宮崎県及び鹿児島県のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図 1 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 硫黄山付近の状況
（12 月 12 日 11 時 12 分、えびの高原監視カメラによる）

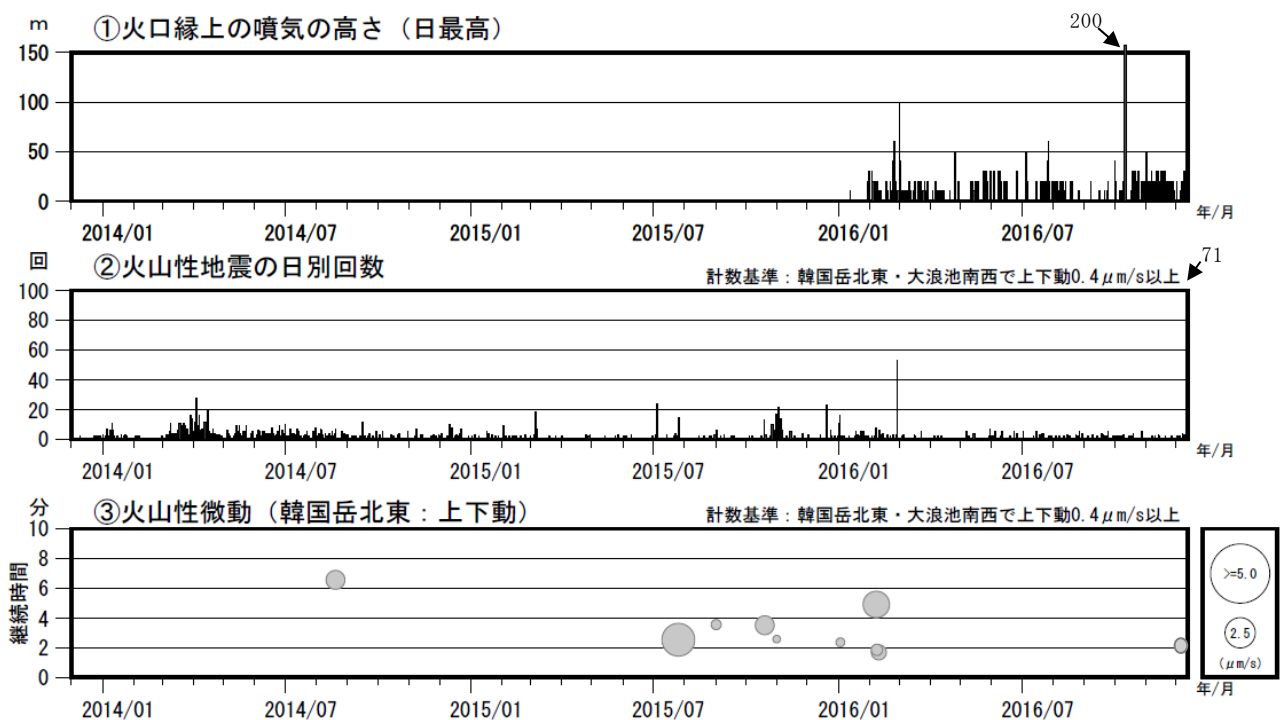


図 2 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 火山性地震と微動の発生状況
（2013 年 12 月 1 日～2016 年 12 月 12 日 13 時）

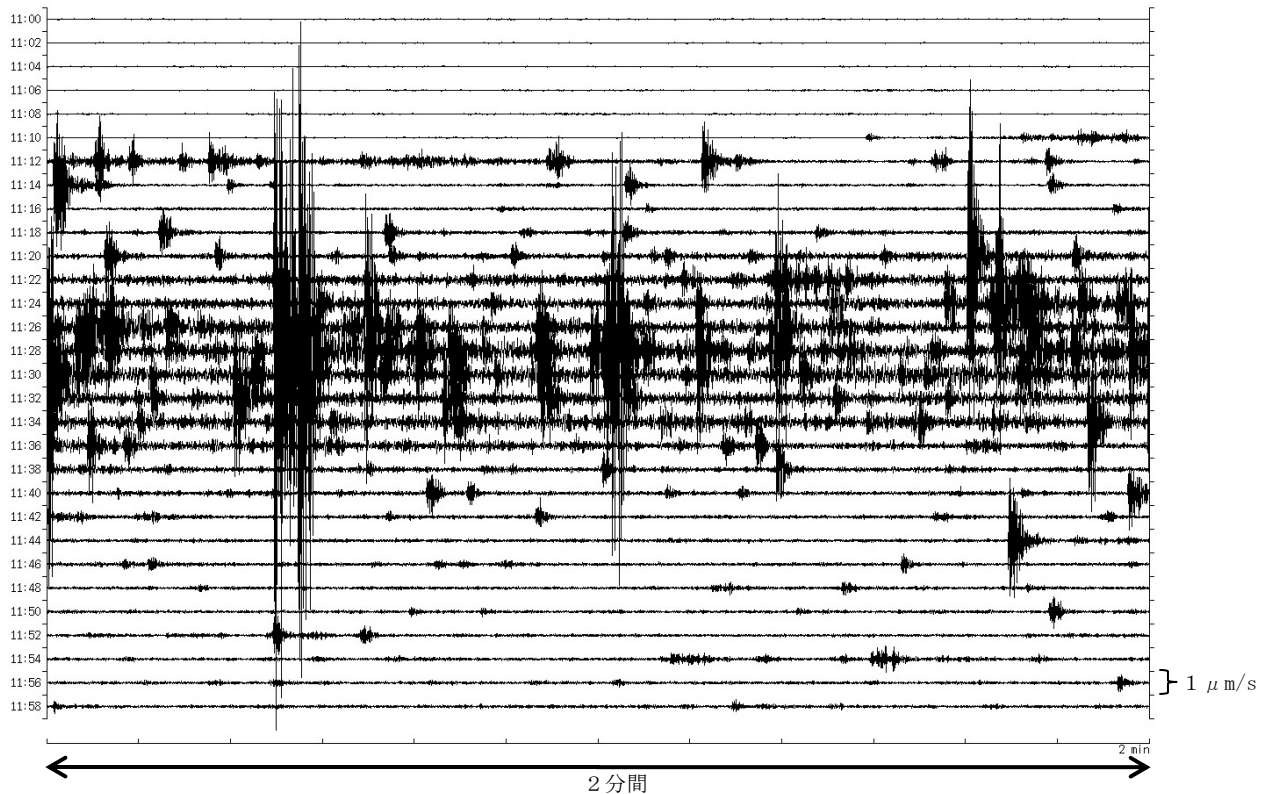


図 3 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 12 日 11 時 00 分～12 時 00 分の火山性地震の波形

11 時 11 分頃から、えびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、13 時までに 71 回発生しました。

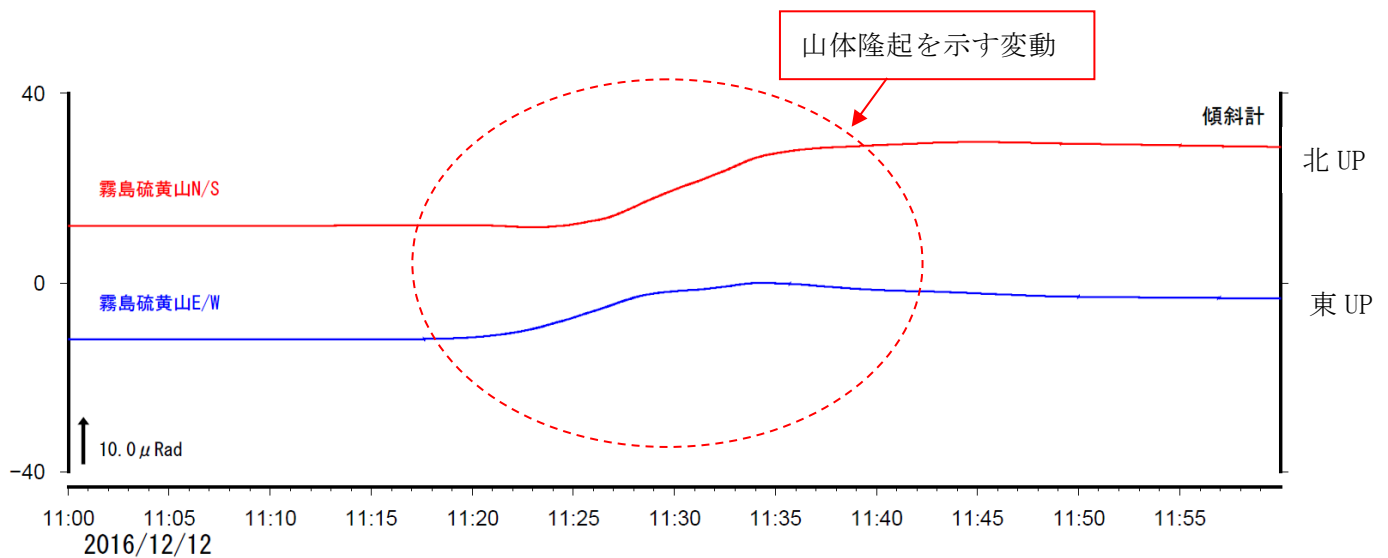


図 4 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 山体膨張を示す傾斜変動（12 日 11 時 00 分～12 時 00 分：硫黄山南西観測点）

硫黄山南西観測点で北東方向（山体膨張）を示す傾斜変動が観測されました。

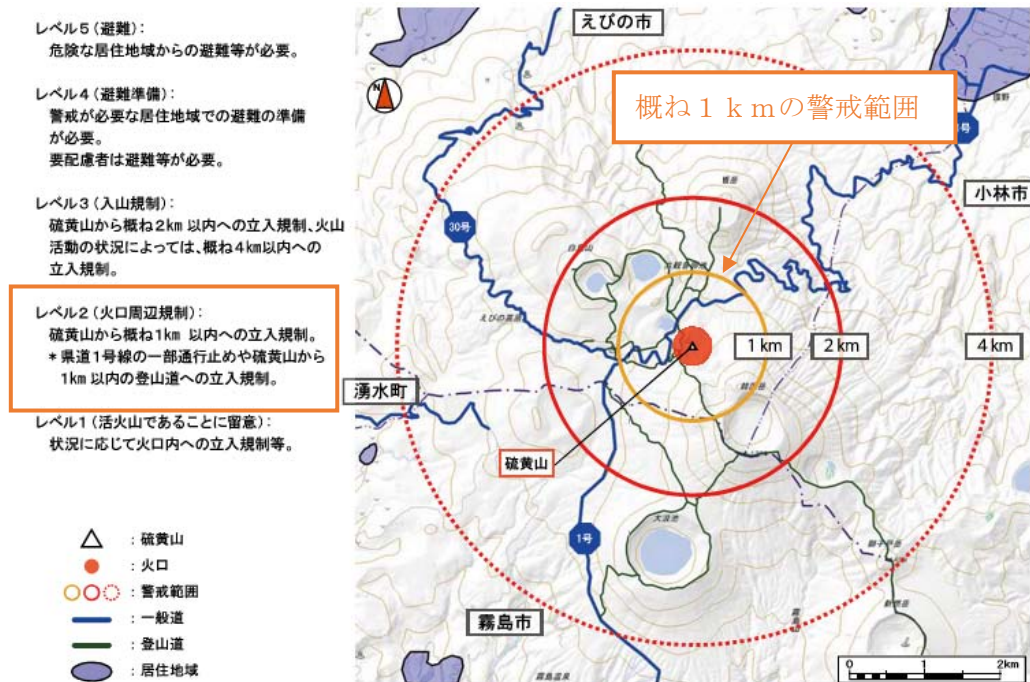


図5 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 警戒が必要な範囲
硫黄山から概ね 1 km の範囲

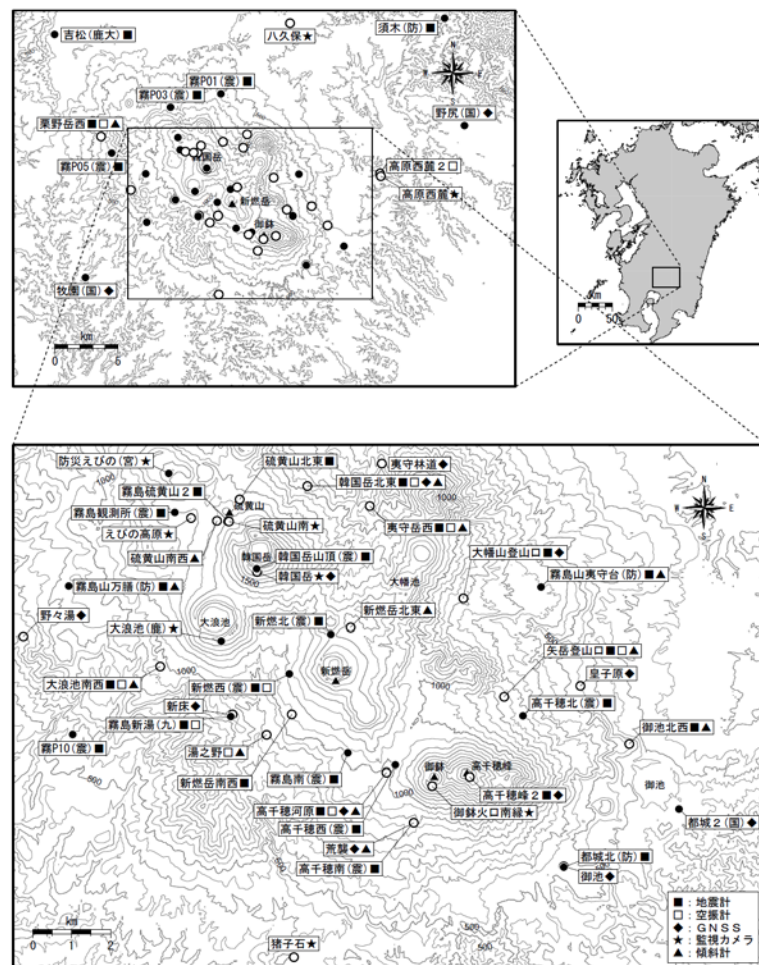


図6 霧島山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所
（九）：九州大学、（鹿大）：鹿児島大学、（宮）：宮崎県、（鹿）：鹿児島県